

学校関係者評価報告書

御茶の水美術専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人服部学園 御茶の水美術専門学校の令和6年度自己点検・自己評価の結果報告に基づいて学校関係者評価を実施しましたので、以下のとおり評価結果を報告いたします。

記

1. 開催日時

令和6年12月6日(木) 10:00～12:00

令和7年 7月3日(金) 14:00～16:00

2. 開催場所

学校法人服部学園 御茶の水美術専門学校 会議室

3. 学校関係者評価委員

委員長 12/6 星賢人(企業)、7/3 阿部克也(企業)

委員 長倉義信(公益法人)、加藤祐貴(企業)、能條桃子(団体)

4. 議事経緯

令和6年度上期(12/6委員会)および年間(7/3委員会)の自己点検・自己評価の実施結果について、学校関係者評価委員会において学校側関係者より説明・報告を行い、各委員から評価結果に対する評価コメントならびに改善に向けた意見・提言をいただいた。

委員の総括評価および主な評価コメントは以下のとおり。

5. 評価結果

(1) 総括評価

学校側による293項目の自己点検結果は、「○」が242項目(82.5%)で昨年度より1項目減少したが、全体的には良好な教育活動・学校運営が遂行されていることが確認できた。入学者数の増加に向けて改善すべき課題があるため、教育活動・学校運営の質の向上を引き続き意識しつつ、学びの活性化を目指していく。

(2) 各委員の主な評価コメント

- ①表層的な授業が多い中で、貴校は深く掘り下げて「なぜ」を追求する授業が特徴的といえる。このアプローチは企業においても重要であり、非常に素晴らしい。貴校は美術専門学校でありながら、就職先は多種多様で、むしろコミュニケーション専門学校のよう、表現や伝達に重点を置いていると感じた。そのため、美術専門学校の枠を超えた見せ方ができれば、入学する

生徒の幅も広がるのではないかと思う。

- ②選択と集中を常に意識しながらも、利益の有無に関わらず、何が最も重要な軸であるかを考えることが重要だと感じている。社会人向けのアートジムや予備校の活動も行える中で、専門学校に注力し、若い世代への教育に集中することが全体の行動量を高めると考える。したがって、専門性を高めることが非常に有益であるが、選択と集中については常に思案している。

- ③人が将来について前向きに考えられるのは、得意なことや好きなことが見つかった時、なりた
い職業を見つけた時である。そういう意味では御校の卒業生が、スキルを磨いて一貫したキャ
リアを歩く人が多いのも強みである。マーケット視点からの強みや、今の高校生の求めている
授業の内容というところから、力の入れどころ、魅せ方を今後の取組みとして変えていけば、
今の良さがよりダイレクトに高校生に伝わると思う。まずは自身の興味関心を入口にできるよ
うに魅せ方を変えることで、そこに興味をもった人が卒業する頃には環境課題や社会課題に興
味を持って社会人になれる。強みをもっと世の中に出せるようなカリキュラム構成は取組みの
中に入ると良いと思う。

- ④学校の魅力を知ってもらうには、ただ媒体を出すだけではなく、生徒や一部社会人にしている
ことを、東京都主催の研修のカリキュラムなどを1 枠もらえたら、「先生のネットワークへの
アプローチ強化」になっていくと思う。

- ⑤就学支援制度を利用する学生にとって、毎年の審査で不合格となって退学をするケースがあ
る。少人数の学校ならではのフォローがなされて、学びを継続できているのは素晴らしいこ
とだと思う。悩んでいる高校生にとってはよい環境と思う。

以上